

P8310800.JPG 2019/04/14

明治元年十一月三日より明治元年十一月六日まで

P8310800righ

三日子 晴

旧婢富父来り□ぬ、木石類廻船世話方として前の内より空介着然る処、右廻船は□取早出の出帆に付

過日並返昨日の返書を兼御書状へ礫川並富沢書状式通、籠□次郎□とはし箱に□し右を為持□□立戻りせる、飯米不足の分礫川領米を貰受る、同家月俸初て賜りとて二種の肴を贈

らる、大助を序頼み去月受取(箱根通行)場印章引□、休左衛門へ三寺例暮附届へ御花代を添へ届方托し□並明後日出立に付、□くも分とも□意銀遣す

四日丑 陰漸晴

先触山本富沢分るも三通栄蔵をして品駅へ為持遣す、稲垣藤告別に来り面ず

休左衛門より太郎へ菓一折を出す、笠原告別に来り同品持来、品駅使より栄蔵帰り来る□代を扱し且

P8310800left

此度召連候手当道中往返分にて壱円並有合□□遣、藤山隠居告別に来る、岡本せき同断来り山本方へ泊宿、稲垣へ先頃中より度々尋来の謝旁告別に行き鯉券持来不在

にて不面得共、太郎へとて金米糖一□を贈らる、山本より弁当料理を贈らる

五日寅 晴

(駿州出立)庫内に五経素読本取残し有しに付休左衛門へ命じ当節出府富田高野隠居久へ持越方を頼積り

藤山陽見送りに来る、一杯を勧む今朝出立御届書調所(飯田町)へ届出方の儀を頼む、西堀金同断来る岡本

せき一泊して彼是世話有し、第十一時山本富沢二家同道出立前□三人九段坂上迄送り来る、品川

□休夕第七時川崎着泊、品駅午休にて渡辺幸家族と落合う、渡辺伴への返書休左衛門申付□

(御年貢出金の儀也)

六日卯 雨意午下晴

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。